

甲府市内水ハザードマップ 目次

はじめに P.2

① 災害を知る

1-1. 内水とは？ P.3

1-2. 内水の特徴 P.3

② 日頃から備える

2-1. 大雨のときにとるべき行動 P.4

2-2. 平時からの取組 P.5

③ 内水ハザードマップ

1 南部【中道】ブロック P.7

2 南部ブロック P.9

3 東部・西部・南部・中央部ブロック P.11

4 東部・南部ブロック P.13

5 東部・西部・北部・中央部ブロック P.15

6 東部・北部ブロック P.17

7 北部ブロック P.19

④ 大雨時の情報収集と避難行動

4-1. 情報の収集方法 P.20

4-2. 大雨時の情報と行動の目安 P.21

4-3. 避難行動判断フロー P.23

4-4. マイ・タイムライン P.25

わが家の防災メモ、
NTTの災害用伝言ダイヤル(171)等 裏表紙

内水ハザードマップとは

水防法により、市町村は雨水出水浸水想定区域図を作成するとともに、作成した浸水想定区域図に浸水に関する情報や避難に関する情報を記載した内水ハザードマップを作成することとなっています。

このたび甲府市においても、雨水出水浸水想定区域図を基に、内水浸水想定区域図を作成し、避難情報などを記載した『甲府市内水ハザードマップ』を作成しました。

市民の皆さんはこのハザードマップをご覧ください、ご自宅などの浸水の深さや指定避難所の位置、安全な避難路などを確認し、大雨などで危険を感じた場合にどのような行動をとればよいか日頃から考えておくようにしてください。

甲府市内水ハザードマップにおける内水浸水想定区域は、令和7年3月に公表した『雨水出水浸水想定区域』を基に、住民への啓発を目的としたその他の雨水排水区域の浸水想定を加えて作成しており、想定最大規模降雨(1時間雨量147mm、24時間総雨量160.5mm)により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

【前提条件】

区域名：雨水出水浸水想定区域

指定年月日：令和7年3月

シミュレーション対象区域：

下水道法の雨水事業計画区域+市街化区域

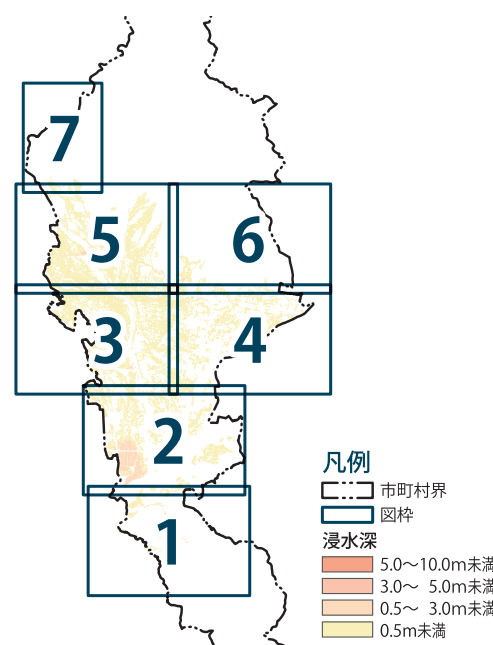
区域名：内水浸水想定区域

指定年月日：令和8年5月

シミュレーション対象区域：

山間地等を除く市街化調整区域及び中道地区の一部

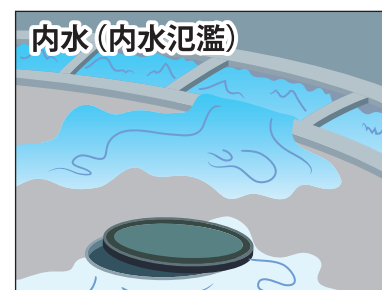
甲府市内水浸水想定区域図



はじめに

1 甲府市で想定される風水害

甲府市では、梅雨期から台風期にかけての水害が最も多くなっています。また、近年の異常気象、社会・産業構造の多様化に伴い、大規模災害の発生についても、その危険性が指摘されています。甲府市で想定される主な水害は、内水(内水氾濫)、洪水(外水氾濫)、土砂災害などがあります。



2 内水ハザードマップの見方

P7～19では、大きな縮尺の地図を用いて、甲府市内水ハザードマップを紹介します。

① 自分の地域のページを見つけよう

自宅や勤務先、学校など、暮らしている地域を、1～7のブロックから探して、そのページを開きます。

② 色が塗られているか、囲われているか確認しよう

地図で自宅の位置などを見つけられたら、その場所が色で塗られているかを確認してみましょう。

③ どのような区域に指定されているか確認しよう

自宅の位置などが色で塗られている場合は、凡例の色と照らし合わせて、どのような区域に指定されているか確認してみましょう。

④ 避難場所の位置を確認しよう

最寄りの「指定避難所」「一時避難所」などの場所を確認してみましょう。

⑤ 避難経路を確認しよう

自宅などから避難所までの経路を地図で確認してみましょう。その際、浸水深の深い場所や危険箇所を避けた経路を考えてみましょう。

